

2009年2月4日

各位

本社所在地 大阪市中央区十二軒町5-12
 上場会社名 株式会社 マンダム
 代表者名 社長執行役員 西村元延
 証券コード 4917 東証第1部
 問い合わせ先 広報 IR 室長 鈴木良彦
 (TEL.06-6767-5020)

業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成20年(2008年)11月5日に公表した業績予想および配当予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1.平成21年(2009年)3月期通期業績予想の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(1)連結業績予想修正の内容

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	58,400	6,900	6,830	3,520	147 98
今回修正予想(B)	54,700	4,590	4,750	2,260	95 01
増減額(B-A)	△3,700	△2,310	△2,080	△1,260	—
増減率(%)	△6.3	△33.5	△30.5	△35.8	—
(ご参考) 前期実績(平成20年3月期)	56,289	6,837	6,704	3,499	147 13

(2)個別業績予想修正の内容

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	40,000	4,350	5,000	3,130	131 58
今回修正予想(B)	36,700	2,430	3,270	1,980	83 24
増減額(B-A)	△3,300	△1,920	△1,730	△1,150	—
増減率(%)	△8.3	△44.1	△34.6	△36.7	—
(ご参考) 前期実績(平成20年3月期)	38,859	4,069	4,421	2,720	114 38

(注)平成20年5月13日の「平成20年3月期決算短信」で発表しております。

(3)修正の理由

当第3四半期の連結売上高は、直近3ヶ月（10月～12月）の国内売上高の不振が予想外に大きく、第2四半期までの堅調な業績から一転して当初計画を下回る見通しで推移いたしました。第4四半期においても、引き続き国内市場の低迷等による国内売上高の不振が予想されることや、急激な現地通貨安による為替のマイナス影響で海外子会社各社の売上高の円換算額減少から当初計画を大幅に下回る見通しとなりました。これにより、通期の予想売上高を前回公表数値より37億円引き下げることにいたしました。

また利益面におきましても、売上高の減少に伴う売上総利益の減少や為替のマイナス影響による海外子会社財務諸表の円換算額の減少がより一層見込まれることから、営業利益を23億10百万円、経常利益を20億80百万円、またマンダム単体における有価証券評価損が想定されることから、当期純利益を12億60百万円、前回公表数値より引き下げることにいたしました。当該見通しは主要な為替レートに関して、0.0108円/インドネシアルピアを前提として算定しております。

(注)上記の業績予想は、当社が現時点で入手可能な情報から得た判断に基づく将来の予想であり、実際の業績は様々な要素により、これらの業績予想とは大きく異なる結果となる可能性があります。

2.平成21年（2009年）3月期配当予想の修正

(1)修正の内容

基準日	1株当たり配当金（円）			
	第2四半期末	期末		年間
		普通配当	記念配当	
前回予想 （平成20年11月5日）	—	40円	—	80円
今回修正予想	—	20円	—	60円
当期実績	40円	—	—	—
前期実績 （平成20年3月期）	30円	30円	20円	80円

(2)修正の理由

当社は、株主の皆さまに対する利益還元を経営の重要施策として位置づけており、当該期の業績や株主資本を考慮しながら安定かつ高水準な株主還元を目指しております。具体的には、連結業績を基準に配当性向50%以上、純資産配当率（DOE）4%以上を掲げております。

しかしながら、上記の「1.業績予想の修正」の通り、通期の業績見通しの達成は困難となりましたことに加え、今後の見通しも不透明なことから、期末の配当予想を前回の40円から20円に修正し、通期の配当予想を前回の80円から60円に修正させていただきます。

以上